

事務事業名		新年祝賀会開催事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5 市民みんなでつくる夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	行政経営部	担当課	行政経営課	
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	行政経営係		担当課長名	齋川 一彦	
	施策	3 市政情報の共有と広聴活動の充実					新規事業・継続事業		継続事業			
	基本事業	1 広報活動の充実					実施計画事業・一般事業		一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	208	一般	2	1	1	新年祝賀会開催事業						
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業			
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～	年度	根拠法令 条例等	実施方法		直営				
						事業分類		広報・広聴・啓発事業				
						リーディングプロジェクト		該当なし				
						市長マニフェスト		該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
毎年1月7日に、各界各層を代表する市民の方を招いて、佐野市文化会館大ホールにおいて、新年祝賀会を開催する。 新年を市民と祝うとともに、市長の市政に対する抱負や今後の方針を直接聞いていただくことにより、市政運営の方向性を理解していただく。			平成27年1月7日(水)に佐野市新年祝賀会を開催した。また、平成25年度に引き続き市政功労者表彰式を合わせて開催するとともに、平成26年度はスポーツ賞表彰式も組み入れて開催した。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			新年祝賀会開催回数	回	1	1	1			
			新年祝賀会招待者数	人	2,138	2,092	2,000			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
市民			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			新年祝賀会参加者数	人	1,173	1,013	1,000			
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
新年を市民と祝うとともに、市長の市政に対する抱負や今後の方針を直接聞いていただくことにより、市政運営の方向性を知り、理解していただく。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			新年祝賀会参加者数/招待者数	%	54.9	48.4	50.0			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
市政に関心を持ってもらう。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			市民が知りたい行政の情報が十分に提供されていると認識している市民の割合	%	73.0	68.2	84.0	85.0	86.0	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	815	795	843					
	事業費計(A)	千円	815	795	843	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報償金	40	報償金	20	報償金	40		
			報償物資費	770	報償物資費	770	報償物資費	792		
器具借上料			5	消耗品費	1	消耗品費	6			
				器具借上料	5	器具借上料	5			
人件費	人	3	3	3						
のべ業務時間	時間	150	150	150						
人件費計(B)	千円	584	591	591	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,399	1,386	1,434	0	0				

事務事業名	新年祝賀会開催事業	担当部	行政経営部	担当課	行政経営課	担当係	行政経営係
-------	-----------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	新年を祝うという日本の文化として、また市長の新年の抱負を一般市民に周知する場として開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	市長の新年の抱負、市政運営の伝達方法が、インターネットやケーブルテレビ等の情報伝達のデジタル化に伴い変化している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	継続して行う必要があるが、事業費をかけない・趣向を変えるなどの意見がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業統合・連携	功績・功労のあった市民等を表彰する市政功労者表彰式を合わせて実施した。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	市長が、直接各界の代表者に市政の方針等を述べることは、市民との情報の共有化が図られることなので、政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市政に対する理解や市民とともに新年を祝うための祝賀会を開催することは、市が直接行うべきものである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	会場の定員に限りがあることから、市内各界各層の代表者としており、対象者は波及効果のある代表者を選んでいるため、妥当である。なお、参加されない市民の方には、市のホームページや広報さのに市長の抱負や会場の様子を掲載するとともに、佐野ケーブルテレビで放映している。そのため、対象と意図を見直す必要はない。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	毎年の参加者数は横ばいであるが、会場の定員から見ると妥当であると言える。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業があり統合・連携できる・している	理由・改善案	類似事務事業名 市政功労者表彰事業 直接各界の代表者に市政の方針等を述べる新年祝賀会と、功績・功労のあった市民等を表彰する市政功労者表彰式を合わせて実施することで、連携を図っている。 * 類似事務事業があれば、名称を記入
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	参加者への記念品として干支文鎮を配っており、その経費が総経費の大部分を占めているが、廃止することにより参加者が減ることも考えられる。記念品の個数も、平成22年度から削減を図っているため、これ以上事業費の削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	市民の方に市政運営の今後の方向性を理解していただくための事業であるため、入場料等の徴収は適当ではない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 本事業が市内各界各層の代表者が集まる場で、市長が市政に対する抱負や今後の方針を直接伝える場となっているため、SNS等の更なる普及によって市民全体に、直接市政運営の方向性を伝えられるようになれば、本事業は終了することができる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
事業統合・連携 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 市政功労者表彰事業と合わせて実施していくことで、連携を図り、成果を向上させていく。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			